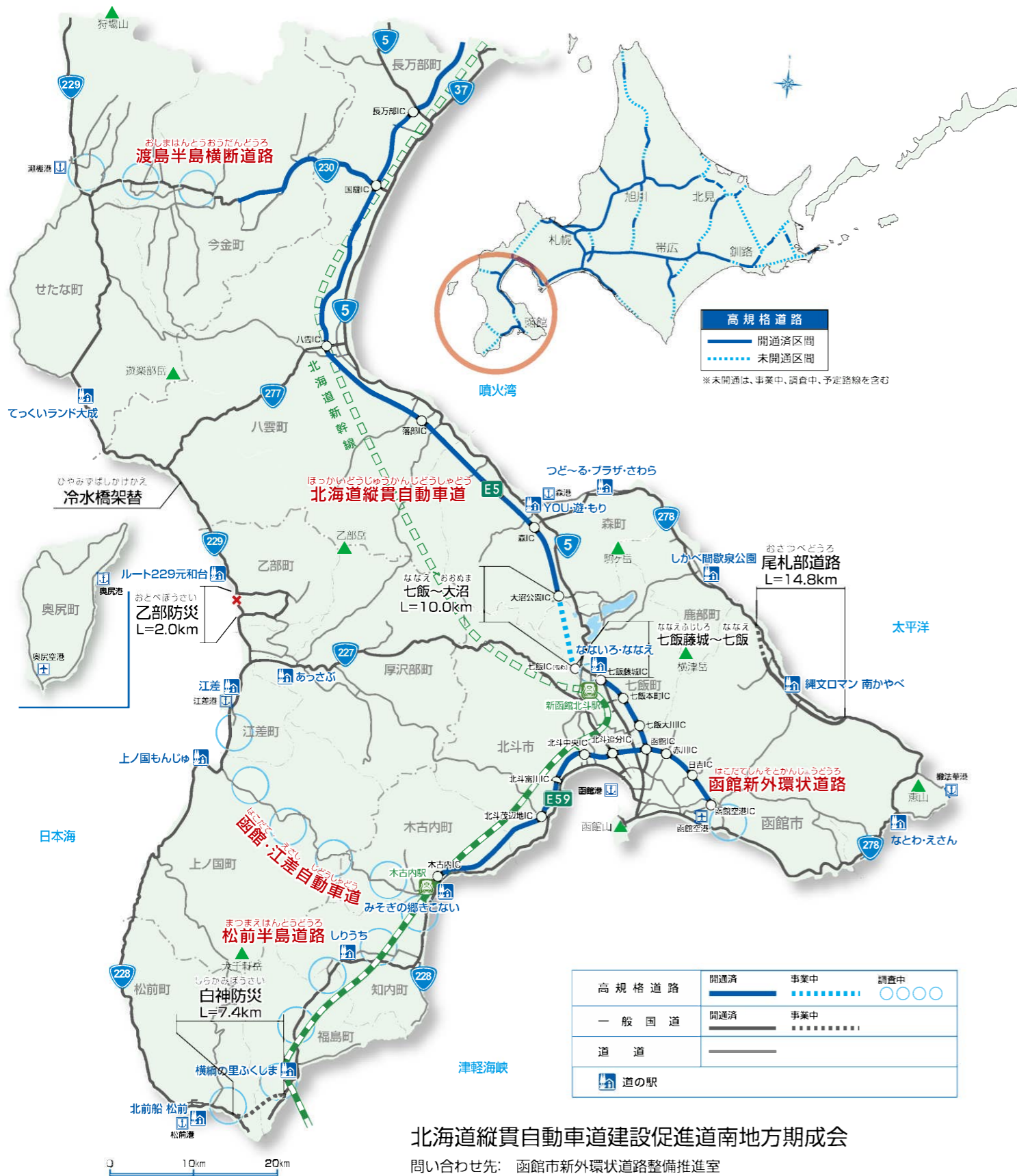


高規格道路の整備により、快適な走行性の確保と地域経済の向上、良好な沿道環境を提供します。

北海道が広大な大地の利を生かし、食や安らぎを提供できる地域としての役割を果たすとともに、救急医療や災害時の代替ルートの確保など道民の安全で安心な暮らしをすすめるためには、高規格道路の早期開通が最重要課題であります。

特に、道南地域において、北海道の「強み」である第一次産業（農業・漁業）や観光業をまもるためには、物流や交通の拠点となる空港・港湾といった重要な施設を有し、医療や福祉・介護・教育・商業・娯楽などの高次な都市機能が集中している函館市を中心とした、高規格道路の整備が必要であり、地域の自治体を中心となって期成会を組織し活動を行っております。



北海道縦貫自動車道建設促進道南地方期成会

問い合わせ先: 函館市新外環状道路整備推進室
 〒040-8666 函館市東雲町4番13号
 TEL:0138-21-3427 FAX:0138-22-4005 令和6年4月現在

北海道縦貫自動車道



森IC～大沼公園IC間(大沼方向)

道南圏の飛躍に向けて、高速交通ネットワークの充実を図っています

観光・産業のあらゆる面で道南圏の活力向上が期待されます



▲供用区間の交通状況(森IC～大沼公園IC間)



▲大沼公園IC



▲森町 鷺ノ木道跡

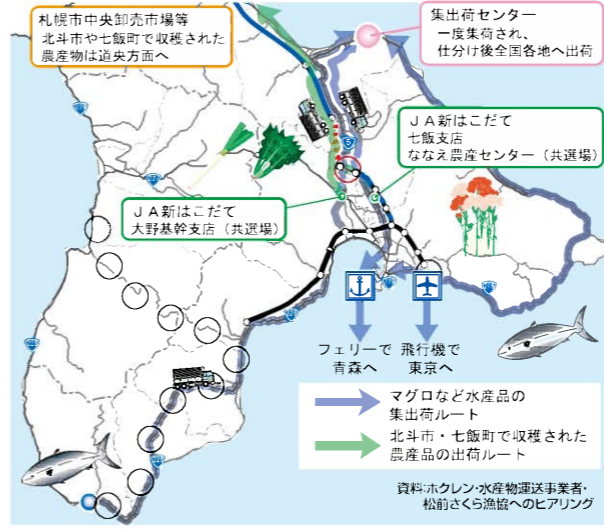
北海道縦貫自動車道は、北海道における広域道路ネットワークを形成する高規格道路であり、札幌を中心とする道央圏と道南圏との連携強化を図るとともに、渡島・檜山北部地域と高次都市機能を有する函館市を結ぶ不可欠な基盤施設であり、道南圏で生産される農水産品

の輸送機能向上はもとより、函館市に集中する高次医療施設への搬送時間の短縮や活火山「駒ヶ岳」噴火時における国道5号の代替避難ルートの確保など地域住民の安全安心な暮らしを守る上で必要不可欠な路線です。
また、他の高規格道路などや新幹線

駅、函館空港といった他の高速交通拠点とネットワークを形成することにより、道南圏はもとより道央圏などの連携強化も図られ、交流人口の増加など、地域の産業経済の振興発展に極めて重要な役割を果たすものです。

農水産品の迅速かつ確実な輸送をサポート

農水産品の品質を保持したまま、迅速かつ確実に輸送できるようになり、産業・経済の活性化に大きく寄与します。



災害発生時の緊急輸送ルートの確保

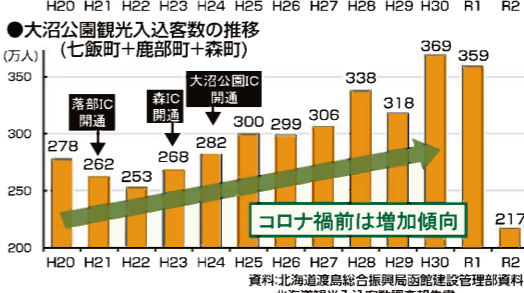
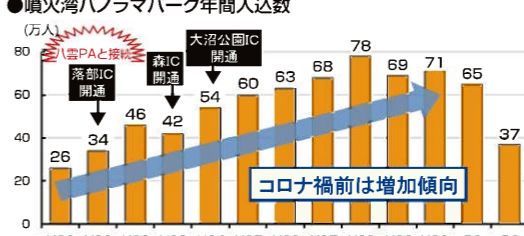
駒ヶ岳の噴火時に備え、被災を受けないルートの整備により、迅速な救急活動、救援物資等、災害時の緊急輸送を強化します。



道南観光の発展をサポート

北海道縦貫自動車道の延伸に伴い、コロナ禍前の噴火湾パノラマパークおよび大沼国定公園の入込客数は増加傾向となっていました。

観光シーズン(ゴールデンウィーク、お盆時期)の渋滞が緩和することで、時間に余裕が生まれ、滞在時間を延ばしたり、立ち寄り箇所を増やしたりすることが可能となります。



道南圏が全道・全国に貢献するために必要な道路です。